



伊藤 多華 議員《座間市公明党》

### 本市の公共工事の入札制度について問う

建設業における技能労働者の育成には、一定の期間を必要とします。熟練工の減少により将来が危ぶまれる建設業界の現状を考慮すると、インフラの維持や高齢化社会への対応も含めて大きな支障を来すと考えますが、今後の市内業者育成についての考えをお示しください。また、本市の公共工事の入札制度において、市内業者育成の観点から、最低制限価格を設定する際の平均変動型を見直し、計算型に一本化できないか伺います。

**総務部長** 最低制限価格の設定の見直しについては、落札率の推移や他市の状況等を踏まえて検討していきたいと



加藤 学 議員《座間市公明党》

### 生活困窮世帯への本市独自の支援策を問う

令和4年の春から、食料品、日用品、燃油の値上げが相次いでいますが、ウクライナ情勢を受けた現在の値上げは始まったばかりであり、影響が本格的に表れてくるのはこれからであると予測されています。国は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により、住民税非課税世帯等への10万円の給付や低所得の子育て世帯に子供一人当たり5万円を給付するなど、様々な支援策を打ち出しました。しかし、本市では、国が実施する10万円の給付が対象外となる課税世帯のうち、世帯所得が200万円以下の世帯数は約1万1千となっております。

考えています。また、今後の市内建設業者の育成における考え方については、業者が置かれていた状況や意見を踏まえながら、他市の状況等を注視し、よりよい入札制度となるように取り組んでいきます。

**市長** インフラ整備を行う上で、市内の事情に精通した業者の知識や経験を貴重な財産として後継者に伝承していくこと、さらには災害発生時に備えて、相互の協力体制をしっかりと構築していくことは大変重要であることから、今後も安全・安心なまちづくりのために、市内建設業者の育成に取り組んでいきたいと考えています。

ます。課税世帯であっても生活が困窮している世帯へ支援の手を差し伸べる本市独自の支援策を講じることについて、所見を伺います。  
**市長** コロナ禍やウクライナ危機による経済打撃は大変深刻であり、物価高騰など、日本経済は大変厳しい状況にあると捉えています。本市においても、市民生活や事業活動に与える影響は甚大です。今後、さらに状況が悪化する可能性もあると認識しており、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用や独自の支援策も含めて、本市の状況を考慮しながら検討をしていきます。



川崎 高一 議員《さま大志会》

### 本市の不登校児童・生徒の現状について

令和3年度の本市における不登校児童・生徒の主な要因と新型コロナウイルス感染症が拡大する以前と比較して、その人数は増加しているのか伺います。また、進路保障にどのような公的支援をしているのか伺います。さらに、不登校児童・生徒を受け入れる居場所を運営している団体への援助について伺います。

**教育長** 令和3年度の本市の不登校児童・生徒の人数について、小学校は84名、中学校は183名です。不登校の主な要因は、無気力で何となく登校しない、漠然とした不安を覚えて登校しない、登校できない、就寝・起床時間が



美濃口 集 議員《さま大志会》

### グラウンドの簡易トイレについて

相模川グラウンド及び新田宿グラウンドに設置されている簡易トイレが老朽化した場合、どのような対応を考えたのか、所見を伺います。また、グラウンドに設置されている簡易トイレの臭いへの対策について、現状の簡易トイレは便槽一体型ですが、くみ取り作業はどのくらいの頻度で実施しているのか伺います。あわせて、くみ取り作業完了後に防臭剤及び防虫剤を投入しているのか伺います。

現在、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用や独自の支援策も含めて、本市の状況を考慮しながら検討をしていきます。

**健康部長** グラウンドの簡

易トイレが老朽化した場合の対応について、現状では相模川グラウンド及び新田宿グラウンドにトイレの建設予定はないため、現在設置している簡易トイレを修理しても正常に使用できないと判断した場合には、新たに簡易トイレを設置することになると考えます。くみ取り作業について、実施する頻度は毎月1回となっております。また、現在はくみ取り作業完了後に防臭剤及び防虫剤を投入していませんが、次回以降のくみ取り作業完了時には防臭剤及び防虫剤を投入し、効果が認められる場合には、継続して実施していきたいと考えています。



沖永 明久 議員《会派に属さない議員》

### 許認可の申請に当たって 県議へ何か依頼したのか?

本市が行った小田急相模原駅前のペDESTリアンデッキ建設事業の凍結について、芥川におる県議会議員の県政レポート第28号には、「令和4年度の工事着工を確保するための建築基準法第44条ただし書による許可取得に、市からの依頼を受け、微力ながら努力をさせていただきました」とあり、この文章からは、本市が県に対して許可申請を行う際に、芥川県議に何らかの依頼をし、芥川県議も依頼を受けて何らかのことは行った、と読み取ることができ、県が行う建築基準法第44条ただし書による許可は、行政の許認可に関わることで

す。許認可に議員が関与することはあり得ない話であり、あつてはならないことです。本市がペDESTリアンデッキ建設に関わる許可申請に当たって、芥川県議へ何か依頼した事実はあるのか、また、依頼したのであれば、どのようなことを依頼したのか、説明を求めます。

**都市部長** 本市から正式に芥川県議に許可の審査に係る特別な便宜を依頼した事実は確認できていません。

**【再質問】** では、特別な便宜を図る以外の依頼はあったのか伺います。

**都市部長** 許認可の審査に関する依頼はしていません。



安海 のぞみ 議員《会派に属さない議員》

### 公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団の在り方 問題があるのでは

ハーモニーホール座間に對する市民からの要望が指定管理者である公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団に届きづらく、それが市側にも伝わらないという状況があります。これは、財団の理事長が市長ではないことにより、理事会の内容等の情報が伝達されないとといった支障を来していると考えますが、指定管理の将来像について所見を伺います。また、利用申請を必要とするハーモニーホール座間の施設において、施設を無断で私的に利用している事例を聞きましたが、市長は把握しているのか伺います。

私が承知しないところで決定しましたが、市の意向を踏まえて今後運営するとの発言があったので、その状況を注視しています。財団のサービスの在り方など、市民からの要望や課題も届いており、その対応も引き続き注視していきたいと思えます。また、外部の方による無断利用について確認し、事実であったため、厳重に注意しました。今後は、財団を設立した経緯や財団が指定管理者となっていることの意味、理事長についての課題の有無を確認していくとともに、本市のスポーツ、文化に対しての考え方も含めて熟考していきたいと考えています。

**市長** 財団の現理事長は、

す。許認可に議員が関与することはあり得ない話であり、あつてはならないことです。本市がペDESTリアンデッキ建設に関わる許可申請に当たって、芥川県議へ何か依頼した事実はあるのか、また、依頼したのであれば、どのようなことを依頼したのか、説明を求めます。  
**都市部長** 本市から正式に芥川県議に許可の審査に係る特別な便宜を依頼した事実は確認できていません。  
**【再質問】** では、特別な便宜を図る以外の依頼はあったのか伺います。  
**都市部長** 許認可の審査に関する依頼はしていません。

### 本会議の概要

- ▽5月24日 開会、会期決定、会議録署名議員指名、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託省略・討論・採決、議案上程・提案説明・総括質疑・委員会付託、報告上程・質疑
- ▽6月1日 一般質問
- ▽6月2日 一般質問
- ▽6月3日 一般質問、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託省略・討論
- ▽6月22日 委員会審査報告・質疑・討論・採決、継続審査案件上程、第五次座間市総合計画特別委員会中間報告・質疑、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託省略・討論・採決、閉会
- なお、質疑、総括質疑、討論は、次の議員が行いました。
- 議案第25号、第27号に対する質疑(5月24日)
- 荻原健司(自民党・いさま)、星野久美子(日本共産党)、伊藤多華(座間市公明党) 総括質疑(5月24日)
- 伊藤多華(座間市公明党)、星野久美子(日本共産党) 討論(6月22日)
- 安海のぞみ(会派に属さない議員)、長瀬未紗(会派に属さない議員)、星野久美子(日本共産党)、荻原健司(自民党・いさま) 報告第6号・第7号に対する質疑(6月22日)
- 高波貴志(自民党・いさま)